

## 再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:都市局 街路交通施設課

担当課長名:筒井 祐治

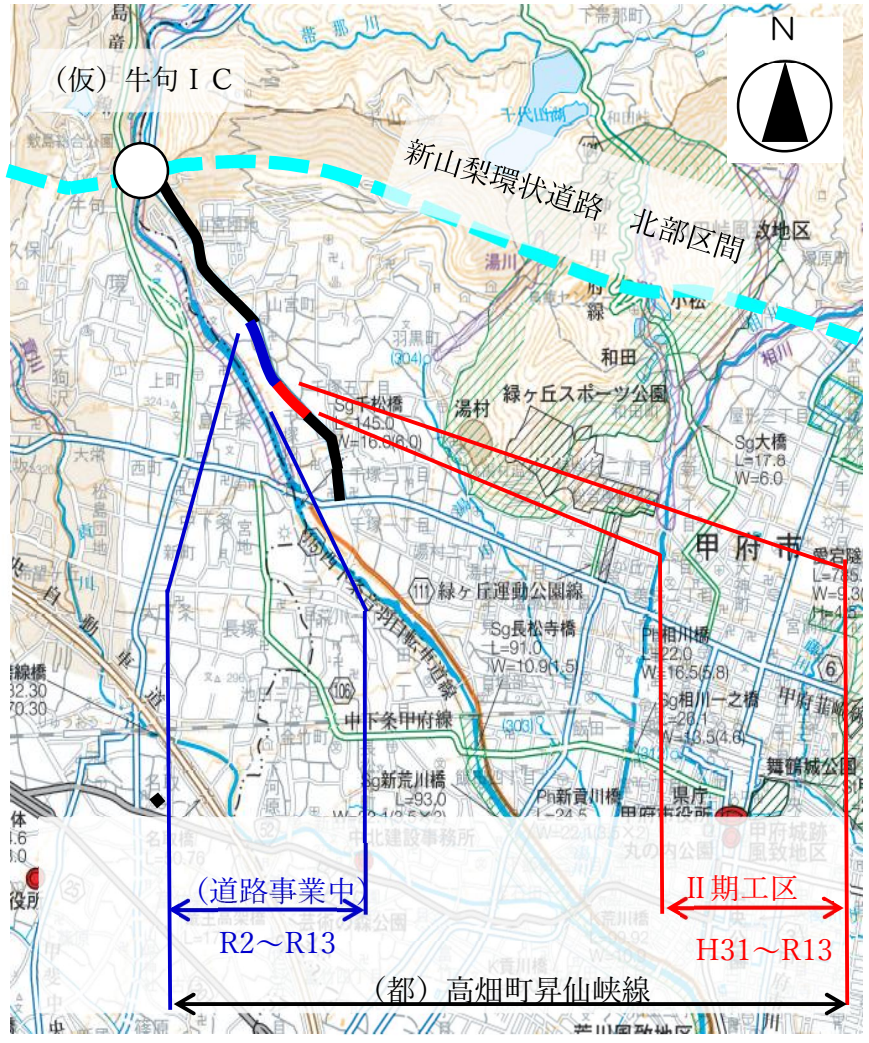
事業名	地域高規格道路 ICアクセス道路 都市計画道路 高畑町昇仙峡線(Ⅱ期)	事業区分	街路	事業主体	山梨県	
起終点	自:山梨県甲府市千塚 至:山梨県甲府市千塚			延長	0.32km	
事業概要						
<p>高畑町昇仙峡線は、山梨県甲府市高畑を起点とし、同市山宮へ至る延長約7.3kmの都市計画道路である。新山梨環状道路(仮称)牛句ICと接続し、県内道路ネットワークの形成に資する重要な路線の一つで、観光名所である昇仙峡への観光道路でもある。狭隘部の解消、歩行者・自転車の安全確保、IC・観光地や甲府駅等へのアクセス向上、災害時の避難・輸送機能の向上を目的として、改良及び電線類地中化の整備を行う。</p>						
H31年度事業化		S21年度都市計画決定 (H25年度変更)		R2年度用地着手		
R5年度工事着手						
全体事業費	18億円	事業進捗率	68%	供用済延長	— km	
計画交通量	16,900台/日					
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 1.4/17億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 22/22億円	
	1.3	5.0 %	(事業費:1.1/ 16億円 維持管理費:0.26/ 0.26億円 更新費: / 億円)		(走行時間短縮便益:19/ 19億円 走行経費減少便益:2.7/ 2.7億円 交通事故減少便益:0.16/ 0.16億円)	
	2.2 [2%]					
	2.9 [1%]	41 %	感度分析 (事業全体)		(残事業)	
	(残事業)		交通量	B/C=1.1~1.5(±10%)	交通量	B/C=14.0~18.7(±10%)
	15.1		事業費	B/C=1.3~1.3(±10%)	事業費	B/C=15.1~17.7(±10%)
22.8 [2%]	事業期間		B/C=1.2~1.4(±20%)	事業期間	B/C=15.0~17.6(±20%)	
27.2 [1%]						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻繁に発生している現道の渋滞を解消することで、新山梨環状道路(仮称)牛句ICと中心市街地とのアクセス向上が図れる。</li> <li>・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。</li> <li>・「道路の整備に関するプログラム」(令和7年3月策定)に位置付けられている。</li> </ul>						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
周辺環境等に特に変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率約93%、事業進捗率約68%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
一部の用地取得に時間を要していること、また埋蔵文化財が確認されたため調査を実施する必要性が生じたことから、事業期間を6年延長し、令和13年度に延伸。引き続き早期完成を目指し、用地取得、調査、工事を推進。						
施設の構造や工法の変更等						
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

事業概要図



凡例

- 今回事業評価区間
- 事業中区間
- 整備済区間



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( [ ]内は社会的割引率の値)